

「ポストペタスケール高性能計算に資するシステムソフトウェア技術の創出」研究領域
平成28年度公開ワークショップ プログラム

日時： 平成28年12月14日(水) 10:00～17:30 ポスターセッション： 17:45～19:15 研究交流会： 19:30～21:00
12月15日(木) 9:30～11:40

場所： 東京 秋葉原 コンベンションホール

発表および討論時間： 招待講演 40分(35分発表+5分討論)、H23年度採択チーム 60分(25分発表X2人+各5分討論)、H24年度採択チーム 30分(25分発表+5分討論)
ポスターセッション 90分

外部参加者お問い合わせ窓口：公開ワークショップのため、研究領域以外の外部からのご参加が可能です。ご参加希望は右記までご連絡下さい。 J S T 担当：(メールアドレス：bigdata-app@jst.go.jp)

12月14日(水) (@ホールB)

(敬称略)

10:00～10:10	ご挨拶、開催趣旨について		研究総括
10:10～10:30	第1セッション(座長：久門AD)	Development of a Numerical Library based on HDDM for HPC	塩谷 隆二(東洋大学)
10:30～10:50		High Performance Simulation of the Finite Element and Particle Method by LexADV Library	荻野 正雄(名古屋大学)
10:40～11:10		Fast Implementation of Tensor and Matrix Library Based on High Performance Design Pattern	河合 浩志(諏訪東京理科大学)
11:10～11:40		ポストペタスケールシステムのための電カマネージメントフレームワークの開発	近藤 正章(東京大学)
11:40～12:10		マルチヘテロ環境による次世代コデザイン・コンピューティング	朴 泰祐(筑波大学)
12:10～13:30	昼食(80分)		
13:30～14:10	第2セッション(座長：中島AD)	US Exascale Computing Project (ECP) (tentative)	Franck Cappello (ANL)
14:10～14:30		Bytespresso-C による高性能計算	千葉 滋(東京大学)
14:30～14:50		Optimization Techniques for a Data-Parallel Extension to Ruby	増原 英彦、Matthias Springer(東京工業大学)
14:50～15:10		VeriCUDA: SIMTプログラムのための形式検証器	小島 健介(京都大学)
15:10～15:30	休憩(20分)		
15:30～15:45	第3セッション(座長：小林AD)	ACEプロジェクトの概要	南里 豪志(九州大学)
15:45～16:00		省メモリ通信ライブラリACPの概要	安島 雄一郎(富士通株式会社)
16:00～16:15		ACP 通信ライブラリによるアプリケーション開発	本田 宏明(九州大学)
16:15～16:30		NSIM-ACEによるRDMA通信のシミュレーション	薄田 竜太郎(九州大学)
16:30～17:00		ポストペタスケールシステムにおける超大規模グラフ最適化基盤	藤澤 克樹(九州大学)
17:00～17:30		Power-Efficient Breadth-First Search with DRAM Row Buffer Locality-Aware Address Mapping	今村 智史(九州大学)
17:45～19:15	ポスターセッション(@ホワイエ)		
19:30～21:00	研究交流会(@近隣外部会場)		

12月15日(木) (@ホールB)

09:30～10:00	第4セッション(座長：中川AD)	ポストペタスケール時代のメモリ階層の深化に対応するソフトウェア技術	遠藤 敏夫(東京工業大学)
10:00～10:30		Possibilities of Exhaustive Multiagent Social Simulation	野田 五十樹(産業技術総合研究所)
10:30～11:00		Xevolverプロジェクトの概要	滝沢 寛之(東北大学)
11:00～11:15		並列FFTにおける通信隠蔽の自動チューニング	高橋 大介(筑波大学)
11:15～11:30	性能最適化ノウハウの蓄積と利活用	江川 隆輔(東北大学)	
11:30～11:40	総評	研究総括	